



200年守り続けた匠の技と、 最新機械設備の融合による こだわりの最高品質

このたび私ども古賀製茶本舗は、製造工場の機械設備を一新いたしました。創業以来、「確かな品質、古賀の八女茶」を基本理念とし、美味しいお茶の製造にこだわり続けています。時の流れとともにニーズは変わり、食品に対して安全性が重要視されるようになりました。そこで、より美味しく安全なお茶を製造するため、最新機械を導入することにいたしました。お茶の名産地である八女をリードする企業として、歴史と伝統を守り続け、時代のニーズにあった高品質のお茶をお客様にお届けすることが弊社の使命であると考えております。

お茶の品質向上はもちろん、安心・安全のためのチェック体制も万全に整えておりますので、皆様により満足いただけるようなお茶をご提供できることと存じます。今後も古賀製茶本舗をどうぞよろしくお願い申し上げます。



●工場全景



●最新式の異物除去機を導入し安全管理を強化

●選ばれた職人が
匠の火入技術で
仕上げます



創業文政二年(1819)



古賀製茶本舗

～ 古賀製茶本舗 ご紹介 ～

I. 企業情報

創 業 / 文政2年(1819年)
事業内容 / 八女茶製造・卸売・小売業
会社設立 / 昭和62年5月1日
社員数 / 23名



II. 企業紹介

日本を代表するお茶の産地・八女で最も歴史のある茶問屋のひとつである古賀製茶本舗は「確かな品質、古賀の八女茶」をモットーに歴史と伝統の味を守り続けています。

永年に渡る匠の技術と最新機械を融合により、こだわり抜いたそのお茶は日本全国で数多くのお客様にご愛顧いただいています。

創業は1819年で、あと数年後に200周年を迎えます。「もっと多くのお客様に、古賀の八女茶の品質とその美味しさを知っていただきたい」という熱き想いで、その歴史と伝統を大切に今の時代に合った新商品開発など今後もチャレンジしてまいります。

III. 表彰歴など

黄綬褒章受章(平成6年)

現会長が永年、茶業界に貢献してきたため受章
通産大臣賞受賞、第30回茶品評会優秀賞(平成13年)

(表彰歴)

福岡県、八女商工会議所、八女観光協会、優良申告法人



IV. 古賀製茶本舗について

(1) 八女茶と古賀製茶本舗の歴史

- ◎ 1435年頃
周瑞禅師が八女郡黒木町に靈巖寺を建立し、中国から持ち帰ったお茶の種をまいて、その製法を伝える
- ◎ 1818年～1843年（文政・天保年間）
久留米・柳川藩の奨励により、茶の製造が飛躍的に発展する

- ◎ 1819年（文政2年）
古賀平助が茶製造を創業する
- ◎ 1831年（天保2年）
古賀平助、宇治式製茶を始める
八女山間部全域に、茶の栽培が始まる

- ◎ 1919年（大正8年）
創業100周年
- ◎ 1949年（昭和24年）
古賀正善、実業の古賀平丸園を継ぎ、製茶業を始める（七代目）
- ◎ 1984年（昭和59年）
古賀正善、全国茶業大会（福岡県開催）で、茶業界代表として品評会審査員をつとめる
- ◎ 1985年（昭和60年）
古賀祐介、実業に入る
- ◎ 1987年（昭和62年）
法人化、株式会社古賀製茶本舗となる
- ◎ 1994年（平成6年）
古賀正善、多年にわたる茶業界への功績により黄綬褒章を受章
- ◎ 1998年（平成10年）
新工場、冷凍・冷蔵庫を新設
- ◎ 2004年（平成16年）
古賀祐介、社長就任（八代目）
11月 小売店舗を改装

- ◎ 2009年（平成21年）
創業190周年を迎える

創業文政二年(1819)



古賀製茶本舗

(2) 原料調達

古賀製茶本舗は、九州産のお茶の調達に自信があります！

福岡八女をはじめ、九州各地に契約農家があるため、生産者がみえる安心・安全の原料が手に入ります。

JA 全農ふくれんによる八女茶の入札権はもちろん、うれしの茶の西九州茶連と、JA 熊本経済連の入札権を保有しているため、直接原料を仕入れることができます。

平成 23 年度には、有機 JAS マークを取得しました。



(3) 生産量

〔 仕上 〕

仕上げライン

ライン 1 1,500 k g / 一日

ライン 2 500 k g / 一日

〔 包装 〕

自動包装機 3 台

1 号機 4,000 本 / 一日

2 号機 2,000 本 / 一日

3 号機 2,000 本 / 一日



製茶工場